

晴れの国おかやま国体



優勝を飾った東知英さん(左)と福館京子さん

九月十日から行われた第六十回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」(岡山国体)夏季大会のセーリング(ヨット)競技で、宮古高校の福館京子(船越)・東知英(織笠 組Ⅱ)ともに三年Ⅱが優勝。ボート競技で山田高校の佐藤翔吾(山田)・畠山勇生(豊間根) 組Ⅱともに三年Ⅱが4位に入賞する活躍がありました。

女子級ヨットF 福館・東組(宮古)が頂点に

ヨット競技は、瀬戸内市の牛窓ヨットハーバー沖で行われ、少年女子FJ級には、全国から三十三艇が出場。五回戦の合計得点を競いました。一回戦で3位と上々のスタートを切った福館京子・東知英組は、二回戦は5位、三回戦を2位と安定した成績でトップに立

ちました。四回戦は無風のため中止となり、この時点で2位の香川に3点差。最終戦で3位以内ならば優勝が決まる状況でした。

最終戦は香川が第一マークを首位で通過し、福館・東組は6位。「このままでは香川に追いつけないと思ったので、3位に入るため慎重にコースを選び、風をとらえることができました」と最終戦を振り返ります。福館・東組はレース終盤で2位に落ちた香川を追い上げ、3位でフィニッシュ。国体ヨット競技で九年ぶりの優勝を飾りました。

三年生でキャプテンを務め、三年間の集大成として大会に臨んだ福館さんは「最後までどうなるかわからないレースで、ぎりぎりまで粘って勝ち取った栄冠だけにとてもうれしい」と笑顔。平成十一年の岩手インターハイでソロ、デュエットの2冠メンバーの姉を目標にしてきた東さんは「千葉インターハイでは準優勝だったので、高校最後の大会で全国制覇できてよかった」と喜びの声を寄せてくれました。

男子ボートダブルス



4位に入賞した佐藤翔吾君(左)と畠山勇生君

佐藤・畠山組(山田)が4位

ボート競技は、岡山市の百間川ボートコースで行われ、少年男子ダブルスカルには全国から二十二クルーが出場。予選から順当に勝ち進んだ佐藤翔吾・畠山勇生組は、上位

監督やOBに支えられてここまでこられた」と感謝。畠山君は「一戦一戦が記憶に残る気持ちのいいレースだった。進学して競技を続けていきたい」と今後の活躍を誓っていました。

四艇で争う決勝で、惜しくも4着でゴール。千葉インターハイの5位に続く全国入賞を果たしました。昨年、インターハイで3位に入賞した一人。今回が全国制覇を目指して臨んだ最後の大会でした。佐藤君は「けがなどで練習できない時期もあったが、納得のいくレースができた。

県中学校新人大会

相撲で荒川君が優勝

県中学校新人大会の相撲競技・個人1年の部で荒川平君(山田中)が優勝しました。

大会は9月3日、県営武道館相撲場で行われ、県内から60人が出場。荒川君は、身長167



荒川 平君
(山田中1年)

センチ、体重110キログラムの恵まれた体格を生かし、予選トーナメントを得意の押し相撲で勝ち上がり、6人で争われる決勝リーグに進出しました。同リーグでも圧倒的な強さで、5戦全勝。見事、県の頂点に立ちました。荒川君は「1年生最後の大会で優勝できてうれしいです。今年の東北総体では、1年の部で3位だったので、来年は東北大会で優勝目指して頑張ります」と来年の目標を見据え、今日も練習に励みます。